

平成31年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

自主・自律を体現して、自己の人生を主体的に切り拓き、社会に貢献することができる生徒を育成する。

- 1 総合力ある教育指導（授業、特別活動、部活動、生活習慣・規範力）ができる学校
- 2 生徒一人ひとりへのきめ細かな指導を行い、学力と進路の保証ができる学校
- 3 地域の信頼を得て、高い志と夢・グローバルな視野を持つ生徒を育むことができる学校

2 中期的目標

1 教員・生徒がともに真摯に学ぶ姿勢を迫及し、授業力を向上させることにより、生徒一人ひとりに寄り添い、思考力・判断力・表現力を伸ばす学習環境を確立する。

- (1) 教科指導力の向上を図り、ICT活用を含め三島スタンダードに沿った学びの深化を推進する。
- (2) 基礎学力の定着を図り、学力向上に資する。
- (3) 主体的に学ぶ意欲・態度を醸成し、家庭学習を推進する。
※授業評価における生徒満足度・・・肯定的評価 80%以上

2 自らの進路実現に向け、粘り強く努力し続けることにより、社会の変化に柔軟に対応し、グローバル社会をリードすることができる生徒を育成する。

- (1) 広い視野で自らの生き方を考え、学習意欲が向上するキャリア教育を推進する。
- (2) 自学自習を推進するとともに、個別指導・講習の充実を推進する。
- (3) 進路情報の共有・保護者への情報提供により、生徒の希望適性に応じた進路実現を支援する。
※国公立大学合格者数・・・現役合格者数；国公立大学 70人以上（うち京阪神市府大 20人）
※センター試験受験者数・・・在籍者数の 80%以上

3 体験的な活動（部活動・学校行事・国際交流・地域交流等）をはじめ、あらゆる学習活動を通じて互いの違いを認め合いつつ協力・切磋琢磨する中で、豊かな人間力を育成する。

- (1) 部活動の充実を図るとともに、勉学との両立を推進する。
- (2) 体育祭・文化祭・芸術祭・修学旅行をはじめとする学校行事の活性化を推進する。
- (3) 国際理解教育、ボランティア活動、読書活動、地域交流活動等を推進する。
- (4) 自らを律して他者を思いやり、市民としての公民意識や規範意識を醸成する取組を推進する。
※部活動加入率・・・90%以上
※地域活動・国際理解教育における生徒満足度・・・肯定的評価 70%以上

4 地域・保護者から信頼される安全で安心な学校づくりを「チーム三島」で推進する。

- (1) 創立 50 周年を迎え、広報活動を充実させるとともに、PTA・後援会・同窓会等と一層の連携を推進する。
- (2) 人権教育・教育相談機能の充実を図るとともに、危機管理力の向上を推進する。
- (3) 「学び続ける」教職員の育成を組織的・継続的に推進する。
※新学習指導要領を踏まえた各科目の研究、内規等の整備を行う。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 年 月実施分]	学校運営協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 思考力・判断力・表現力を伸ばす 学習環境の確立	(1) 教科指導力の向上 (2) 基礎学力の定着 (3) 家庭学習習慣の定着	(1) ア 外部授業公開・校内授業公開を例年通りそれぞれ実施する。 イ 校内外の研修を踏まえ、教科ごとの教育活動報告会を実施する。 ウ 校内のICT機器を効果的に活用する。 (2) ア 総合基礎(朝学)PTを中心に科目内容の充実・精選を図る。 (3) ア 「家庭学習記録表」を活用し、家庭における学習習慣を定着させる。 イ 生徒の学習の参考となる「三島スタンダード」を作成・充実を図る。	(1) ・授業見学を相互の教科指導に反映する ・生徒の授業満足度における肯定的評価 80%以上 (H30:77%) ・教員のICT活用における肯定的評価 50%以上 (H30:41%) (2) ・総合基礎の生徒満足度における肯定的評価 70%以上 (H30:60%) (3) ・生徒の家庭学習内容・時間満足度における肯定的評価 50%以上 (H30:44%)	
2 グローバル社会をリードできる生徒の育成	(1) キャリア教育の充実 (2) 個別指導・講習の充実 (3) 進路情報の共有・活用	(1) ア 広い視野で職業選択を見据え、生徒の進路実現に向けたキャリア指導計画を作成する。 イ 関西大学・大教大との連携活動を継続する。 (2) ア 各教科の講習を実施するとともに、自学自習の推進方策を検討する。 イ 英語4技能を高める授業を進めるとともに、英語検定等の資格取得を推進する。 (3) ア 進路情報の分析を随時実施するとともに、データに基づき生徒の進路希望に応じた指導を行う。 イ 大学入試改革をはじめとする情報を的確に把握するとともに、生徒・保護者にわかりやすく情報を提供する。	(1) ・生徒の進路関連項目における肯定的評価 90%以上 (H30:88%) ・関西大学・大阪教育大学との連携を継続する (2) ・長期休業中の講習を継続する ・英語検定資格取得者の増加 (H30:521人) (3) ・国公立大学現役合格者数の増加 (H30:55人) ・保護者の進路関連項目における肯定的評価 70%以上 (H30:70%)	
3 豊かな人間力の育成	(1) 部活動の充実 (2) 学校行事の活性化 (3) 国際理解教育・地域連携の充実 (4) 公民意識の醸成	(1) ア 勉強と両立して積極的に部活動に参加し、達成感や自尊感情を育む。 (2) ア 体育祭・文化祭・芸術祭等を通じて、自主自律の精神を涵養する。 イ 学校行事を通じて、本校の歴史のうえに新たな伝統を創造する自覚を持たせる。 (3) ア 夏期オーストラリア語学研修等を実施する。 イ 地元小学校との地域交流活動や高槻市各機関との連携を推進する。 (4) ア あいさつが活発になるよう啓発するとともに、時間遵守の大切さを浸透させる。	(1) ・生徒の部活動等と勉強の両立における肯定的評価 60%以上 (H30:59%) ・部活動加入率 90%以上を維持 (H30:1年生 91%) (2) ・生徒の学校行事への取組における肯定的評価 90%以上 (H30:86%) (3) ・生徒の国際理解における肯定的評価 80%以上 (H30:78%) ・生徒の国際交流・地域交流満足度 80%以上を維持 (H30:95%・89%) (4) ・生徒のルール遵守における肯定的評価 70%以上を維持 (H30:71%) ・遅刻者数の減少 (H30:2455人)	
4 安全で安心な学校づくり	(1) 広報活動の充実 (2) 人権教育・教育相談機能の充実 (3) 人材育成の推進	(1) ア 生徒の活動や地域連携活動をHPで公開するとともに、組織的に中学校訪問・学校説明会を実施する。 イ 創立50周年式典に向けて、PTA・後援会・同窓会・生徒・教職員一体となりオール三島で連携を進める。 (2) ア カウンセリングマインドを取り入れた指導を組織的に行う。 イ 本校における人権教育の体系化を図る。 (3) ア 校内研修の更なる充実に努め、日常的なOJTの推進を図る。 イ 授業・生徒指導をはじめ教員の専門的知識を研鑽する機会のあり方や新学習指導要領を踏まえた指導等について検討する。	(1) ・HPの情報を毎月更新する ・学校説明会参加者数の現状維持 (H30:1446人) ・創立50周年記念事業を円滑に推進する (2) ・生徒の教育相談関連項目の肯定的評価の向上 (H30:58%) (3) ・校内研修関連項目の肯定的評価の向上 (H30:38%) ・内規等の検討を行う	